



友愛・互助・平和

賀川豊彦と連帯・協同の精神



明治末から戦後にかけてあらゆる社会運動に足跡を残した賀川豊彦。

彼は、誰もが当事者としてお互いに助け合い連帯する新しい市民社会を構想していた。しかし戦後日本では他者を顧みない個人主義を蔓延させ、「今だけ、金だけ、自分だけ」が今日の時代精神となってしまった。何が間違っていたのか、賀川豊彦の生き方とその思想に分け入ることで、戦後社会の問題の本質に迫るとともに、私たちが未来に向けてどういう選択・行動へと踏み出すべきなのか、考えていく。



講師プロフィール
伊丹 謙太郎 先生

徳島県出身。

東京工業大学大学院社会理工学研究科社会数理論座単位取得退学。千葉大学医学部、人文公共学府特任助教、東京大学教養学部非常勤講師等を経て、法政大学連帯社会インスティテュート教授（現職）。

専門は意思決定科学 / 社会倫理学（社会学）。賀川豊彦同労者における社会事業・協同組合運動の展開史をテーマに研究を進めている。

共著に石田正昭編『いのち・地域を未来につなぐ～これからの協同組合間連携』（家の光協会、2021）など。

「賀川豊彦学校」公開講座

「賀川豊彦学校」受講生以外の方の聴講も大歓迎！

とき 2022年
8月27日 土 13:00~14:30

ところ アスティとくしま 3階
第2特別会議室
徳島市山城町東浜傍示1-1

受講料 無料（駐車料金 200円必要）



Google Map

受講のお申し込み、お問い合わせは

鳴門市賀川豊彦記念館

鳴門市大麻町松字東山田 50-2

tel.088-689-5050

主催 認定 NPO 法人賀川豊彦記念・鳴門友愛会

<https://www.kagawakan.com/>